

105-334

問題文

72歳女性。体重40kg。肺がんステージⅣで、緩和病棟に入院することになった。薬剤管理指導時、「最近、疼痛時の薬を飲んだ後、2時間くらいすると周りの景色がゆがんだりすることがあります。」と訴えがあった。レスキュー薬は1日1回程度服用することで、疼痛コントロールはできている。

現在服用中の処方薬及び検査所見は下記の通りである。

(処方1)

モルヒネ硫酸塩水和物徐放錠 60 mg 1回1錠 (1日2錠)
1日2回 12時間毎 7日分

(処方2)

モルヒネ塩酸塩水和物内用液 10 mg 1回2包 (10 mg/包)
疼痛時内服 10回分 (全20包)

(処方3)

ラメルテオン錠 8 mg 1回1錠 (1日1錠)
1日1回 就寝前 7日分

検査所見：血圧 110/80mmHg、体温 37.5℃、脈拍 78回/分(整)、AST 35IU/L、ALT 40IU/L、BUN 30mg/dL、血清クレアチニン値 1.5mg/dL、下肢の浮腫 (2+)

患者の状態を薬学的観点から判断するため、SOAP方式でこの患者の指導記録を作成した。その内容の組合せのうち、適切なのはどれか。1つ選べ。

	S	O	A	P
1	レスキュー薬服用後、周りの景色がゆがむ	モルヒネ錠 120 mg モルヒネ液 20 mg ラメルテオン錠 8 mg	モルヒネによるラメルテオン代謝阻害の可能性	ラメルテオンの減量又は中止を提案する
2	レスキュー薬服用後、周りの景色がゆがむ	ラメルテオン錠 8 mg BUN 30 mg/dL、血清クレアチニン値 1.5 mg/dL、浮腫 (2+)	腎機能低下によるラメルテオン排泄遅延の可能性	ラメルテオンの減量又は中止を提案する
3	レスキュー薬服用後、周りの景色がゆがむ	モルヒネ錠 120 mg モルヒネ液 20 mg AST 35 IU/L、ALT 40 IU/L	肝機能低下によるモルヒネ代謝遅延の可能性	モルヒネ液の減量を提案する
4	レスキュー薬服用後、周りの景色がゆがむ	モルヒネ錠 120 mg モルヒネ液 20 mg BUN 30 mg/dL、血清クレアチニン値 1.5 mg/dL、浮腫 (2+)	腎機能低下によるモルヒネ代謝物排泄遅延の可能性	モルヒネ液の減量を提案する
5	レスキュー薬服用後、周りの景色がゆがむ	モルヒネ錠 120 mg ラメルテオン錠 8 mg	ラメルテオンによるモルヒネ代謝阻害の可能性	モルヒネ液の減量を提案する

解答

解説

疼痛時の薬を飲んだ後の副作用、BUN 高め、下肢の浮腫 から「腎機能低下に伴う、モルヒネ代謝物の影響」と考えられます。

すると O として記載すべきは「モルヒネについて、及び腎機能に関するデータ」です。「ラメルテオン」は不要なので、選択肢 1,2,5 は誤りです。

ちなみに、ラメルテオンは、メラトニン受容体に対して高い親和性を有するアゴニストで、睡眠覚醒サイクルを正常化して生理的な睡眠を誘導します。

また、肝機能についても不要と考えられるため、選択肢 3 は誤りです。

以上より、正解は 4 です。